

科目名		授業形態	担当教員名	
保存修復学		講義	谷田 英輔	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
歯科衛生業務を行うために必要な歯に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 保存修復学分野の診療に際し必要な知識を取得し、各修復法の目的を理解し説明できる。 2. 治療に必要な器材、材料の使用方法についての知識を習得し、説明できる。 3. 修復法の種類（直接修復・間接修復）と特徴を説明できる。 4. 歯の切削器械・器具の種類と特徴を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	歯の硬組織疾患の種類と原因、予防法、処置法			
2	う蝕治療の流れとその前準備の概要			
3	窩洞の構成と名称、分類と窩洞形態の原則。Minimal Intervention Dentistry(MID)の意義			
4	修復処置に使用する機材の概要			
5	修復法の種類（直接修復・間接修復）と特徴			
6	歯の切削器械・器具の種類と特徴 歯の変色の原因と処置法（歯の漂白）			
7	象牙質知覚過敏症の症状と原因、処置法			
8	修復処置後の不快事項とメンテナンス			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%			
レポート				
小テスト	20%			
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法		全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				